

LM・ブラジル国債ファンド (年2回決算型)

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第19期(決算日2018年3月13日)

作成対象期間(2017年9月14日～2018年3月13日)

第19期末(2018年3月13日)	
基準価額	14,950円
純資産総額	3,880百万円
第19期	
騰落率	△ 2.6%
分配金(税込み)合計	10円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「LM・ブラジル国債ファンド(年2回決算型)」は、2018年3月13日に第19期の決算を行いました。

当ファンドは、信託財産の中長期的成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

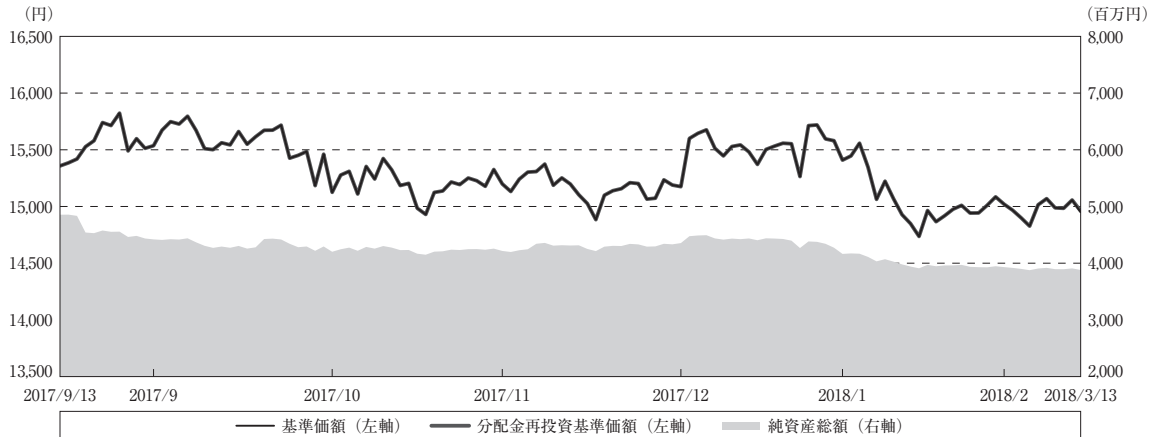
(営業日の9:00～17:00)

<http://www.leggmason.co.jp>

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2017年9月14日～2018年3月13日）



期首：15,358円

期末：14,950円（既払分配金(税込み)：10円）

騰落率：△ 2.6%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2017年9月13日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

期末（2018年3月13日）のLM・ブラジル国債ファンド（年2回決算型）（以下、当ファンド）の基準価額は14,950円（分配金控除後）となりました。当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナス2.6%（分配金再投資ベース）、基準価額は398円（分配金込み）下落しました。

ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保しました。公社債損益についても、債券利回りが低下したことからプラスに寄与しました。一方、為替損益については、ブラジルレアル・円相場がリアル安・円高となったことからマイナス寄与となりました。

1万口当たりの費用明細

（2017年9月14日～2018年3月13日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	127	0.830	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率
（投信会社）	(61)	(0.402)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(61)	(0.402)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(4)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	13	0.082	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(10)	(0.065)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷等費用）	(2)	(0.010)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合計	140	0.912	
期中の平均基準価額は、15,244円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2013年3月13日～2018年3月13日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2013年3月13日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2013年3月13日 決算日	2014年3月13日 決算日	2015年3月13日 決算日	2016年3月14日 決算日	2017年3月13日 決算日	2018年3月13日 決算日
基準価額 (円)	14,871	13,103	12,359	11,060	14,978	14,950
期間分配金合計(税込み) (円)	-	20	20	20	20	20
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	△ 11.8	△ 5.5	△ 10.3	35.6	△ 0.1
純資産総額 (百万円)	3,513	2,429	1,786	2,306	3,705	3,880

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

投資環境

(2017年9月14日～2018年3月13日)

当期のブラジル債券市場では、利回りが低下（価格は上昇）しました。

期の前半は、ブラジル中央銀行（BCB）が2017年10月の金融政策委員会（COPOM）において利下げ幅の縮小を決定し、今回の緩和サイクルの終わりが近いとの見方が広がったことから、利回りは上昇（価格は下落）しました。また、財政改革の柱となる年金改革法案の審議が難航するとの懸念が強まったことも、利回りの上昇につながりました。

期の半ばは、年金改革法案の年内採決への期待感などから、利回りは低下しました。また、BCBが四半期インフレ報告で2018年のインフレ見通しを下方修正したことも、利回りの低下要因となりました。しかし、その後、年金改革法案の採決が2018年2月に先送りされたことや、ブラジルの格下げ懸念などから、利回りはやや上昇しました。

期の後半は、米国の利上げペースが速まるとの観測を受け米国国債利回りが上昇した影響から、ブラジルの債券利回りにも上昇圧力が強まりました。しかし、その後、インフレ率が低水準で推移する中、BCBによる追加利下げ観測が強まったことや、米国株価の回復を背景に投資家のリスク回避姿勢が緩んだことなどから、利回りは低下しました。

当期のブラジルリアル・円相場は、リアル安・円高となりました。

期の前半は、ブラジルの国内景気の底堅さが意識されたことや、テメル大統領の起訴に絡む政情不安がやや緩んだことなどから、リアルは対円で底堅く推移しました。しかしその後、地政学リスクの高まりから投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、年金改革法案の行方に対する不透明感などから、リアル売り・円買いが強まりました。

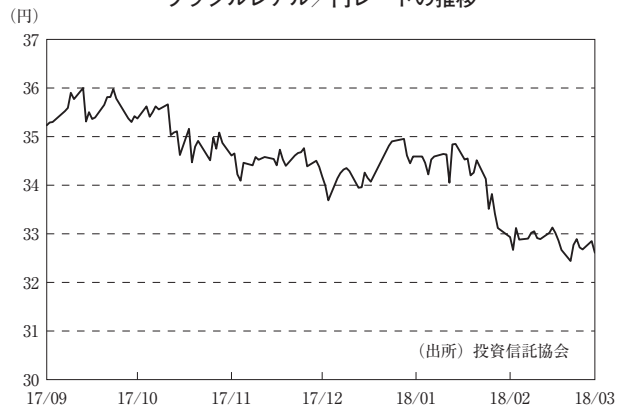
期の半ばは、年金改革法案の採決への期待感から、リアル買い・円売りが優勢で推移したものの、結局は2017年内採決が2018年2月へ先送りされ、ブラジルの格下げ懸念が強まったことなどから、リアル売り・円買いが優勢となりました。その後は、S&Pがブラジル国債の格下げを発表したものの、資源価格の上昇などが好感され、リアル買い・円売りが優勢となりました。

期の後半は、米国の利上げペースが速まるとの観測を受け米株式相場が急落し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、リアル売り・円買いが優勢となりました。また、BCBによる追加利下げ観測が根強いことも、リアルの上値を抑えました。その後は、リアルは対円で下げ渋る展開となりました。ブラジル政府が年金改革法案の採決を先送りしたものの、既に市場が織り込んでいたことから影響は限定的でした。

ブラジル国債（2年物）利回りの推移



ブラジルリアル／円レートの推移



当ファンドのポートフォリオ

（2017年9月14日～2018年3月13日）

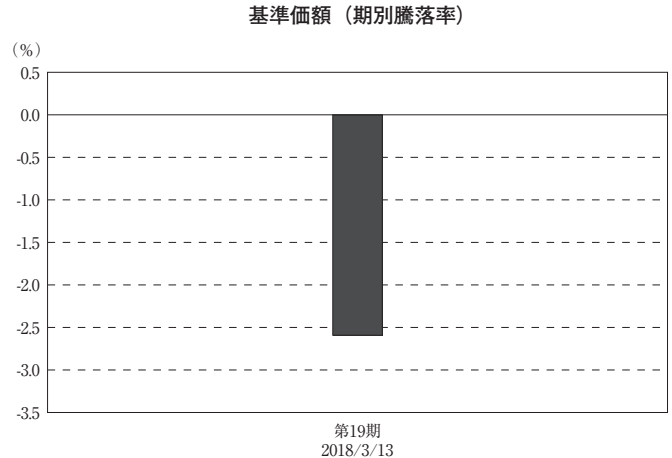
当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。また、外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2017年9月14日～2018年3月13日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

（2017年9月14日～2018年3月13日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第19期
	2017年9月14日～ 2018年3月13日
当期分配金	10
（対基準価額比率）	0.067%
当期の収益	10
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	10,446

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

お知らせ

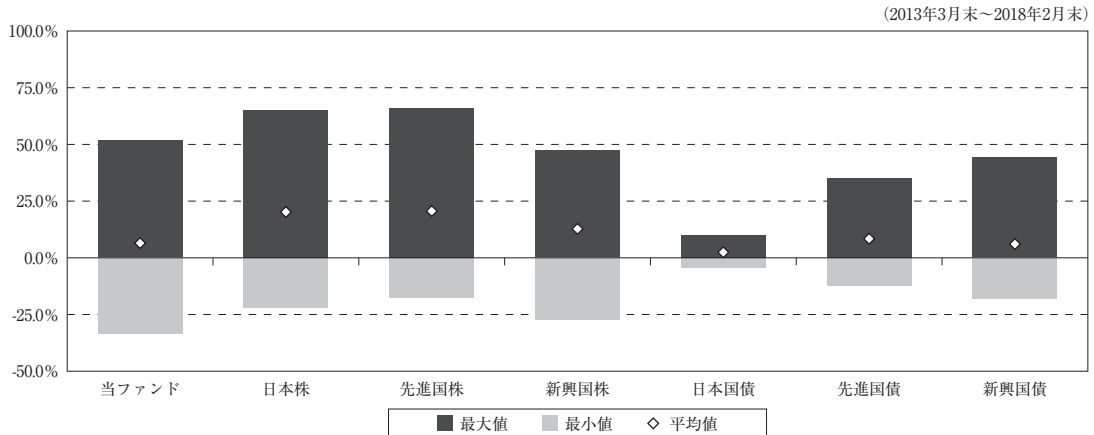
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジル・リアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ブラジル国債マザーファンド	ブラジル・リアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	LM・ブラジル国債マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	年2回の決算日（原則として毎年3月13日及び9月13日。休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	51.8	65.0	65.7	47.4	10.1	34.9	44.1
最小値	△ 33.5	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.3	△ 12.3	△ 18.1
平均値	6.5	20.2	20.6	12.8	2.4	8.4	6.1

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年3月から2018年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

* 各資産クラスの騰落率を計算するために使用した指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、ヘッジなし・円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、ヘッジなし・円ベース)

日本国債：FTSE 日本国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：FTSE 新興国市場国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)

(注) 海外の指数は、各資産クラスに為替ヘッジなしによる投資を行うことを想定して、円ベースの指数を採用しております。

(注) 上記各指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はその指数を算出、公表しているそれぞれの主体に帰属します (TOPIX: 株式会社東京証券取引所、MSCI コクサイ・インデックスおよびMSCI エマージング・マーケット・インデックス: MSCI Inc、FTSE 日本国債インデックス、FTSE 世界国債インデックス、FTSE 新興国市場国債インデックス: FTSE Fixed Income LLC)。また、それぞれの主体は当ファンドの運用に関して一切の責任を負うものではありません。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2018年3月13日現在)

○組入上位ファンド

銘柄名	第19期末
LM・ブラジル国債マザーファンド	101.0%
組入銘柄数	1銘柄

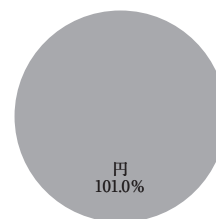
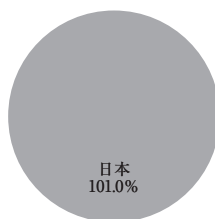
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

○資産別配分

○国別配分

○通貨別配分



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

純資産等

項目	第19期末
	2018年3月13日
純資産総額	3,880,327,661円
受益権総口数	2,595,550,484口
1万口当たり基準価額	14,950円

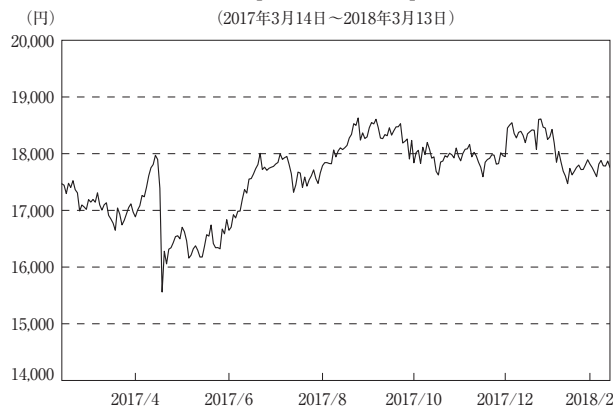
* 期中における追加設定元本額は469,864,487円、同解約元本額は1,035,642,058円です。

組入上位ファンドの概要

LM・ブラジル国債マザーファンド

【基準価額の推移】

(2017年3月14日～2018年3月13日)



【1万口当たりの費用明細】

(2017年3月14日～2018年3月13日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他費用 (保管費用)	25 (25)	0.142 (0.142)
合計	25	0.142

期中の平均基準価額は、17,570円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2018年3月13日現在)

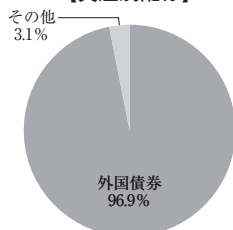
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	BRAZIL-NTN-F-10% (NOTA TESO N10% 2021/1/1)	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	68.9
2	BRAZIL-NTN-F-10% (NOTA TESO N10% 2023/1/1)	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	15.8
3	BRAZIL-NTN-F-10% (NOTA TESO N10% 2019/1/1)	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	12.3
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-
	組入銘柄数		3銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

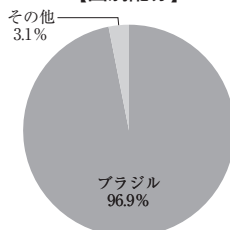
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

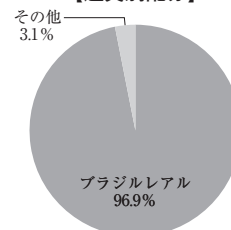
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。